

「びわ湖の日」の取組について

1 びわ湖の日の制定について

昭和 56 年、「滋賀県琵琶湖の富栄養化の防止に関する条例」の施行 1 周年を記念し、7 月 1 日を「びわ湖の日」と定め、平成 8 年に「環境基本条例」において規定。琵琶湖への思いをみんなで共有して、その総合保全に取り組む象徴的な日といえる。

環境基本条例（平成 8 年 7 月 1 日施行）

（びわ湖の日）

第八条 県民および事業者の間に広く環境の保全についての理解と認識を深めるとともに、環境の保全に関する活動への参加意欲を高めるため、びわ湖の日を定める。

2 びわ湖の日は、7 月 1 日とする。

3 県は、びわ湖の日の趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

2 びわ湖の日の取組について

7 月 1 日「びわ湖の日」の概ね前後 1 週間、県下全域で環境美化活動が行われてきた中、びわ湖の日 30 周年(平成 23 年度)を契機に、「琵琶湖をきれいにすること」に加えて、「豊かな琵琶湖を取り戻すこと」、「琵琶湖にもっと関わること」をびわ湖の日の取組の新たな展開の柱とした。

また、平成 25 年度、この 3 本柱を充実させていくため、市町と連携するだけでなく、民間企業・大学等と連携した取組を新たに進めることとした。

【びわ湖の日の目指す姿】（びわ湖の日 30 周年の取組報告書より）

びわ湖の日には、県民、事業者、行政等が一丸となって広く環境の保全についての理解と認識を深め、環境の保全に関する活動に取り組み、県民が琵琶湖とつながり、琵琶湖と生きていることを感じる日となることを目指す。

【主な事業展開】

琵琶湖をきれいにしよう

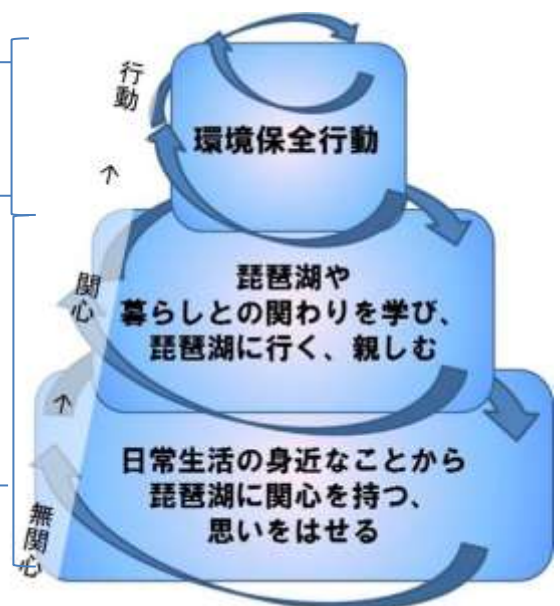
- びわ湖を美しくする運動

豊かな琵琶湖を取り戻そう

- ナガエツルノゲイトウの駆除
- オオバナミズキンバイの駆除
- 外来魚駆除釣り大会
- ニゴロブナの放流

琵琶湖にもっと関わろう

- 琵琶湖の価値やびわ湖の日の意義を発信『広める』
- 身近なこと『食べる』から琵琶湖に関心をもつ企画
- 琵琶湖や暮らしとの関わりを『学ぶ』企画



3 平成 29 年度「びわ湖の日」の取組

より多くの方に琵琶湖を知り、関わっていただくために

- ◇琵琶湖周航の歌 100 年との連携
- ◇下流域への発信強化

- ◇若い世代へのアプローチ強化
- ◇ソーシャルメディアの有効活用

1 琵琶湖をきれいにしよう～協働取組

○びわ湖を美しくする運動 <循環社会推進課>

実施期間：概ね 6/25(日)～7/9(日)

活動内容：琵琶湖や河川、道路等における美化活動

参加人数：約 12 万人

協力団体：滋賀県漁業協同組合連合会など 18 団体



⑧ ○侵略的外来水生植物ナガエツルノゲイトウの駆除・ニゴロブナの放流

*彦根市内で行われるびわ湖を美しくする運動(6/24)の一環として実施 <湖東環境事務所>

日程：6/24(土)9:00～11:00

6/24(土)11:00～11:30

場所：野瀬川(彦根市大藪町)

野瀬川(彦根市大藪町)

内容：ナガエツルノゲイトウ駆除

ニゴロブナの稚魚の約 1,000 匹放流

主催：彦根市、滋賀県 参加者数：大学生他 29 人

共催：公益社団法人 24 時間テレビチャリティー委員会、
読売テレビ「24 時間テレビ」事務局



2 豊かな琵琶湖を取り戻そう～協働取組

○侵略的外来水生植物オオバナミズキンバイ等の駆除 <自然環境保全課>

日程：6/25(日) 場所：守山市赤野井湾周辺

主催：赤野井湾再生プロジェクト(県協働事業)

日程：7/6(木) 場所：大津市膳所城跡付近 参加人数：23 人 主催：滋賀県

⑧ 日程：8/2(水) 場所：大津市琵琶湖湖岸 参加人数：立命館大学 学生 1150 人

主催：立命館大学体育会本部 共催：滋賀県

協力：国際ボランティア学生協会(IVUSA)

○侵略的外来水生植物オオバナミズキンバイの調査等

日程：7/1(土) <自然環境保全課>

場所：大津中央公民館および琵琶湖湖岸

主催：国際ボランティア学生協会(IVUSA)(県協働事業)



○びわこルールキッズ 2017～外来魚のリリース禁止 <琵琶湖政策課>

1) 募集期間：6/10(土)～8/31(木) 登録者：955 人(うちキッズ 628 人)

内容：全国の小中学生を対象に、期間中に外来魚のリリース禁止に協力してもらえ
る『びわこルールキッズ』を募集

- 2) びわこルールキッズ釣り大会
 日時：6/10(土) 参加人数：205人
 7/23(日) 参加人数：587人
 場所：いずれも大津港（浜大津アーカス前）
 主催：滋賀県
 協賛：伊藤園、滋賀県漁業協同組合連合会、
 JAバンク滋賀



3 琵琶湖にもっと関わろう～協働取組

【民間企業との連携による取組】

○(株)セブン-イレブン・ジャパン <琵琶湖保全再生課>

- 1) 近江牛・甘長とうがらしを使用したおむすび等を販売
 販売場所：県内全店舗（約230店舗） 発売日：6/27～
- 2) 県内全店舗で「びわ湖の日」ポスターを掲出、レジ袋削減に関する協定締結

○大型商業施設（(株)平和堂・イオンリテール(株)）

<琵琶湖保全再生課・農政課・食のブランド推進課・水産課・自然環境保全課>

- 1) びわ湖の恵みコーナー設置（湖魚や近江米など）
 日程：7月1日前後
 場所：平和堂約70店舗、イオン4店舗
- 2) 「琵琶湖の価値発見」ブースの設置
 日程：7/1(土)～7/2(日)
 場所：ビバシティ彦根



※平和堂等の主催で児童合唱団による琵琶湖周航の歌合唱やあゆのつかみどりが実施

- 日程：9/23(土) 場所：イオン久御山（京都府）
- 3) 県産食材使用メニュー「われはうみのこカレー」開発・販売等（平和堂）

○(株)滋賀銀行 <琵琶湖保全再生課>

琵琶湖周航の歌誕生100年を記念して、琵琶湖周航の歌の寄港地5市の店舗において、「びわ湖の日」のポスター展を実施
 内容：採用作品、次点作品、最終選考作品の7点の巡回展示
 日程：8/4～12/29
 場所：本店営業部、今津支店、長浜支店、彦根支店、八幡支店内



滋賀県

【学校関係との連携による取組】

○成安造形大学 <琵琶湖保全再生課>

「琵琶湖周航の歌」を勘案した学生によるデザインで啓発ポスター等を作成
 作成枚数：ポスター 1000枚、クリアファイル 700枚

○立命館大学 <琵琶湖保全再生課>

「びわ湖の日」連続講座開催
 テーマ：「琵琶湖と人の様々なつながり」
 日程：7/9、7/23、7/30 場所：立命館大学BK C
 主催：滋賀県 共催：立命館大学 のべ参加人数：約370人



⑧ ○龍谷大学 <琵琶湖保全再生課・琵琶湖博物館>

- 1) 学食で湖魚ハスを使用したメニューが提供(各日 20 食)される。同期間中、琵琶湖に関するパネル等を展示 日程：6/26～6/30 5日間
- 2) 滋賀県提携龍谷講座 in 大阪(予定) 各定員：70人
テーマ：琵琶湖と気象 日程：12/2、1/20 場所：龍谷大学梅田校
テーマ：琵琶湖の地学 日程：2/24、3/3、3/10 場所：龍谷大学梅田校

○県内市町立小学校等

- 1) びわ湖の魚を学ぶ学校給食連携推進事業 <水産課>
日程：6月から3月(各学校で湖魚を給食に使用する日)
内容：学校給食へ旬の湖魚を提供(ビワマスを中心にホンモロコ、コアユ等)
- 2) 「びわ湖の日」音声ストーリーの放送 <琵琶湖保全再生課>
日程：びわ湖の日前後
内容：給食時間等に琵琶湖に関する様々な「音」や暮らしに関する「お話」の放送

○琵琶湖下流域の学校への出張出前講座等

<琵琶湖保全再生課・農政課・農村振興課・琵琶湖博物館・安土城考古博物館>

1) 私立東山中学校(京都市)

開催：3回 対象：1学年生徒170名
内容：5/20、11/21、12/9

琵琶湖の歴史、外来魚解剖、「魚のゆりかご水田米」試食 他

⑧ 2) 私立清風南海高等学校(大阪府) <琵琶湖保全再生課・琵琶湖政策課・水産課>

日程：6/13 出前講座 対象：1学年グローバルコース73名
7/31 高島市内でのフィールドワーク 参加人数：20名



⑧【公立施設等との協働取組】

○高島市 琵琶湖周航の歌資料館での特別企画 <琵琶湖保全再生課>

期間：6/1～7/2 場所：琵琶湖周航の歌資料館
連携：(公社)びわ湖高島観光協会
内容：琵琶湖周航の歌資料館で琵琶湖に関するパネル等の展示や、県民からの琵琶湖への思いの意見募集コーナーを設置

○京都市 琵琶湖疏水記念館での「びわ湖の日」パネル展示 <琵琶湖保全再生課>

期間：7/1～7/30 場所：琵琶湖疏水記念館
連携：京都市上下水道局
内容：琵琶湖保全再生法パネル展示等

⑧【ソーシャルメディアでの情報発信】 <琵琶湖保全再生課・広報課>

○#ビワコノヒ 写真投稿呼びかけ

お気に入りの写真をInstagramから投稿していただき、琵琶湖の多様な価値や魅力を広める。

期間：7/1～7/20 投稿件数：1074件
投稿写真は、県ホームページやFacebook等に掲載、県民カレッジで展示(10/27～11/10)

